

2.5 干潟の現状調査

2.5.1 干潟形状の変化

(1) 調査結果

季節別調査地点別の干潟形状及び朝明川河道の状況を図 2.5.1～図 2.5.3 に示す。

ここでは、本調査の秋季と冬季のみではデータが少なく変化を把握しにくいいため、平成 29 年度の調査結果と合わせて示した。

1) 朝明海岸（調査地点①）

各季を比較すると、砂堆の形状の変化はみられるものの、干潟部全体に著しい変化は見られなかった。2m 程度の高さのある前浜上には、枯死した樹木や草本、人工物等からなる漂着ごみが多く堆積している。その前面の干潟をつくる沖浜は緩やかに傾斜しており、ところどころに波浪や沿岸流によって運ばれた砂礫が堆積した小高い丘上の砂堆が形成されている。

2) 朝明川河口部（調査地点②）

各季を比較すると、河口部の濤の位置や中洲の形状、植生の状況等、いずれも変化は認められなかった。

3) 朝明川河道部（調査地点③）

各季において、河道の中央に中洲が形成され、左右岸寄りに濤が形成されている。四季を通じて大きな変化は認められないが、夏季には中洲が縮小して下流側に移動するとともに、左右両岸の上流側に洲が堆積するなど、若干の変化がみられた。この要因となる春季から夏季にかけての出水は、梅雨前線上の低気圧通過による平成 30 年 6 月 20 日の大雨と、三重県に上陸した台風 12 号による 7 月 28 日～29 日の大雨が考えられる。

その後はまとまった降雨はなく、本調査期間中は河道が安定していたものと考えられる。



秋季（平成 29 年 11 月 2 日：潮位 84cm）



冬季（平成 30 年 1 月 31 日：潮位 91cm）



春季（平成 30 年 3 月 6 日：潮位 78cm）



夏季（平成 30 年 8 月 10 日：潮位 60cm）



秋季（平成 30 年 10 月 9 日：潮位 82cm）



冬季（平成 31 年 1 月 24 日：潮位：91cm）

図 2.5.1 朝明海岸の干潟形状（調査地点①）



秋季（平成 29 年 11 月 2 日：潮位 59cm）



冬季（平成 30 年 1 月 31 日：潮位 72cm）



春季（平成 30 年 3 月 6 日：潮位 37cm）



夏季（平成 30 年 8 月 10 日：潮位 20cm）



秋季（平成 30 年 10 月 9 日：潮位 50cm）



冬季（平成 31 年 1 月 24 日：潮位 60cm）

図 2.5.2 朝明川河口部の形状（調査地点②）



秋季（平成 29 年 11 月 2 日：潮位 59cm）



冬季（平成 30 年 1 月 31 日：潮位 65cm）



春季（平成 30 年 3 月 6 日：潮位 35cm）



夏季（平成 30 年 8 月 10 日：潮位 37cm）



秋季（平成 30 年 10 月 9 日：潮位 44cm）



冬季（平成 31 年 1 月 24 日：潮位 59cm）

図 2.5.3 朝明川河道部の形状（調査地点③）

2.5.2 人の干潟利用状況

(1) 調査結果

季節別利用形態別干潟利用者数を表 2.5.1、干潟の利用状況を図 2.5.4 に示す。

干潟では、潮干狩り、散歩、ゴルフの練習、釣り、モーターパラグライダーなどの利用形態が過年度から確認されている。本調査時（秋冬 2 季各 1 日）の利用者数は秋季 37 人、冬季 2 人、合計で 39 人であり、冬季の利用者数は少なかった。2 季の合計では、潮干狩り利用者数が最も多く 28 人で全体の約 72%を占めていた。

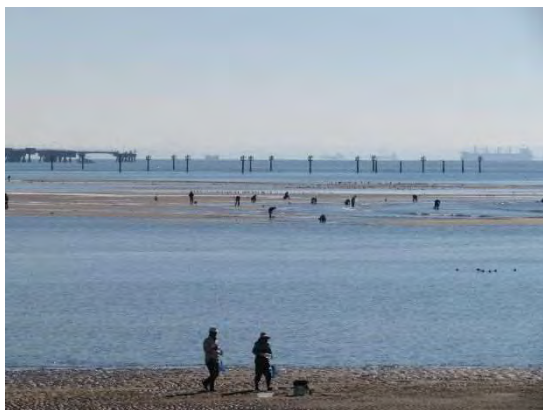
表 2.5.1 季節別利用形態別干潟利用者数（人）

利用形態	平成 29 年度		平成 30 年度				合 計	
	秋季	冬季	春季	夏季	秋季	冬季	利用者数	割合 (%)
潮干狩り	60	25	38	39	28	1	191	85.4
散歩		3	4				7	3.1
ゴルフ練習	2	1	2		1	1	7	3.1
釣り				6	8		14	6.2
モーターパラグライダー	5						5	2.2
合 計	67	29	44	45	37	2	224	100.0

注) 1. 潮干狩り利用者は出入りが多いため、実人数より少なくカウントした可能性が考えられる。

2. 赤枠は本調査の範囲を示す。

《潮干狩り》



H29 年 11 月



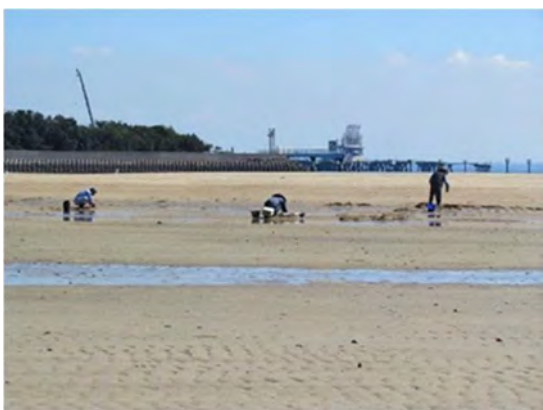
H29 年 11 月



H30 年 1 月



H30 年 8 月



H30 年 10 月

図 2.5.4(1) 干潟利用状況

《散歩》



H30 年 3 月

《ゴルフ練習》



H29 年 11 月

《釣り》 夏季



H30 年 8 月



H30 年 10 月

《モーターパラグライダー》 秋季



H29 年 11 月

図 2.5.4(2) 干潟利用状況